

平成9年3月16日

自治会会員 各位

つつじが丘統一自治会
会長

第22回定例総会の開催について（ご案内）

寒さも和らぎ、春の訪れを感じる今日この頃ですが、会員の皆様にはご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、第22回定例総会を下記の通り開催いたしますので、ご多用とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席いただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 開催日時 平成9年4月6日（日） 午前9時30分より
- 2 開催場所 つつじが丘ふれあいセンター
- 3 議 題
 - (1) 平成8年度会務報告及び、会計報告〈審議・承認〉について
 - (2) 平成9年度活動方針（案）〈審議・承認〉について
 - (3) 平成9年度予算（案）〈審議・承認〉について
 - (4) 役員（会長・副会長・会計監査）の改選について
 - (5) その他

以 上

※ 会場準備の都合もありますので、総会への出欠席を別紙出欠票にご記入の上、3月25日（火）までに各班長さんにご提出ください。
なお、当日欠席される方は、委任状も併せてご提出ください。

第22回定例総会

平成9年4月6日

つつじが丘統一自治会

【総括】

私たちのまち「つつじが丘」は、昨年度20周年を迎え、記念式典をはじめ様々な記念行事を実施してきました。式典に参加した関係者の方々から、市の模範的なまちとしての評価も高く、私たち住民の誇りです。この発展は、歴代自治会役員の皆さんが、まちづくりにかけてきた情熱の結晶であるとともに、住民の方々のまちを愛する意識のあらわれでもあります。

1月12日の日曜日に実施されたまちづくり協議会主催の「新春の集い」には、約1500人もの人々が集い、子どもたちだけでなく、隣近所の人々と、また地域の人々との交流・親睦の輪が広がりました。晴天に恵まれたとはいえこれほど多くの人々を集めて行事が実施できるのは、私たちの活動が地域に根づいているあかしであり、「ふるさとづくり」そのものになっていると考えます。

さて、一方で高齢化社会の波は、このまちに確実に押し寄せてきています。10年後、50歳の方は60歳に、60歳の方は70歳に年を重ねます。公的扶助には限界があります。近隣ケア、あるいはボランティア活動等の住民相互扶助の大切さを認識するところです。福祉委員会の「福祉のまち」づくりをめざす地道な活動には、大きな期待が寄せられています。まちづくりには、「自分たちのまちは、自分たちの手でつくっていく」という意識と努力が必要であり、このことが地域への愛着を育み、郷土を作り上げていくこととなります。

私たちのまち「つつじが丘」が、子どもたちからお年寄りまでの幅広い住民に対して、優しく、思いやりのあるまちになっていくことを願いつつ、今年度の会務報告をいたします。

1 福祉活動について

平成5年の第19回定例総会で、福祉活動の大切さが確認され、「福祉のまちづくり」を当面、自治会主導で推進するとの基本方針が出されました。

3年目を迎えた今年も、福祉委員会は全住民の福祉への認識を向上させるために、精力的に活動を展開しました。福祉関連の行事を実施しつつ、参加者相互の交流を深め、ボランティア活動等への広がりに向けて努力してきました。

市老人福祉センター「稲田園」の見学会や介護講習会では、参加した方々の福祉に対する意識の高さを痛感しました。今年度も計画どおりに「福祉基金」50万円の積み立てを行いました。

今後、このまちの実情にあった活動に向上させるためには、統一自治会が中心となり、団地内社協八木山支部、民生委員、近隣ケアグループの方々など福祉関係団体の協力・連携の強化が望まれます。

また、募金等の活動に、各自治会で班長を中心として積極的に取り組み、着実に成果をあげてきました。たいへんご苦勞様でした。

2 生活環境整備について

(1) 上池周辺等の環境整備事業について

上池周辺の「つつじが丘公園整備事業」については、早期実現に向けて市当局に依頼してきましたが、今年も市の財政事情のためストップしたままでした。5丁目から3丁目にかけて大安寺へ抜ける道路の雑木林の整備と年一回ののり面の草刈りは、市当局に実施してもらいました。

(2) ベットの糞害対策について

今年度も、「飼い主の心得10ヶ条」の配布や委員の巡回など、環境委員会の地道な活動の成果で、飼い主のマナーの向上が見られます。

(3) 交通安全標識(20km/h)の整備について

標識の腐食やいたみがひどく、かねてから更新要望の強かった交通安全標識(20km/h)29個を更新しました。真っ白な標識の完成により、わかりやすく交通安全につながると同時に、つつじが丘のまちが一段とクリーンアップしました。

自治会で自主運営している標識ですので、大切にするとともに交通事故防止にご協力をお願いします。

(4) 緑化対策について

緑のまちづくりをめざすボランティアグループの結成が待たれていましたが、3月に結成の運びとなりました。実際の活動は、新年度以降となる予定です。多数の方々のご参加をお願いします。

3 諸行事の運営について

(1) 春・秋の防災訓練は、今年度も現実的に充実した訓練になりました。

今年度はじめて救急救命講習会を実施し、悪戦苦闘の末51名の方々が「普通救命講習修了証」を獲得し、地域の防災意識向上に貢献しました。

(2) 盆踊り大会については、つつじが丘の年中行事として今年も多数の住民の参加を得て実施しました。

課題となっていた「練習日の設置」の件は、文体委員会で話し合い、練習日を持たないで実施しました。また、「協賛金のあり方」についても、委員会内等で検討し、無理のないように依頼していくことになり、団地内

と団地に関係の深い事業所を中心に協賛金の依頼に回りました。結果的に昨年とほぼ同額の協賛金が集まりました。

- (3) 「八木山まちづくり協議会」主催の「夏祭り」「市民大運動会」「新春の集い」の三大行事は、いずれも晴天にも恵まれ、多くの参加者を得て盛会のうちに終了しました。当つつじが丘統一自治会は、運営の中心となり主体的に参加しました。これからも、まちづくりの中心行事として、子どもたちからお年寄りまで喜んで参加できる内容の会にしていきたいと考えています。今後とも積極的にご参加いただきますようお願いいたします。

なお、市民清掃には、今年度も中学生の多数の参加があり、住民全員参加という充実した活動に発展してきました。

4 広報室について

本年度の第21回定例総会で、自治会の機関紙として「タイムズつつじが丘」を位置付け、再発行するという方針を確認しました。これを受けて、広報委員の公募を行いました。公募委員と統一自治会広報担当委員により下記体制で編集・発行を行ってきました。

<タイムズつつじが丘の位置づけ>

つつじが丘統一自治会の会員相互の意思の疎通を図ることを目的とする。タイムズつつじが丘は統一自治会の機関紙とし、製作費用は統一自治会会計より支出する。紙面の内容は、自治会の活動を会員の方々に周知すること、及び会員相互のふれあいを作るものとする。

休止になった経緯を踏まえ、総会での意見を十分参考にして、無理のない発行体制をとり、9月、12月、3月に発行できました。広報委員の皆さんのご苦勞に対して感謝の意を表します。「タイムズつつじが丘」を住民の皆さんで支え、そして、育てていただきたいと思えます。皆様方から積極的に記事や情報を提供くださることをお願いします。

【環境委員会】

ゴミ問題、ベットの糞害問題、町内清掃等、住み良いまちづくりの為に、環境委員会は皆様と共々に活動してきました。以下、本年度の会務報告をいたします。

1 ゴミ収集について

ゴミの分別収集については、住民の皆様のご協力により、おおむね円滑に実施されていると考えます。しかし、一部には、不燃物と可燃物との分類が不十分であるとの声があり、ゴミ出し方法の徹底を図るため「ゴミの分別収集一覧表」（保存版）を各戸配布しました。来年度から分別方法に一部変更があります。今後とも、ルールを再確認の上、ゴミの分別収集にご協力をお願いします。

2 町内清掃について

例年通り、春〔5/26（日）〕、夏〔7/28（日）〕及び秋〔11/10（日）〕の年3回実施しました。

(1) 春には、側溝及び各公園を全町内で一斉に清掃を行いました。

(2) 夏と秋は市民清掃なので、まちづくり協議会とタイアップし、協議の上責任場所を決め、大安寺川、清水谷、八木山登山道、ふれあい農園、それに、各町内独自の清掃を行いました。八木山登山道は、今年も多数の中学生の参加を得て、草刈りなどを実施しました。住民全員参加の充実した活動ができたことを心より嬉しく思います。

なお、大安寺川の清掃は、夏は3、4丁目、秋は5、6丁目を担当しました。のり面（3、6、7、8丁目）の清掃につきましては、夏は、各町内で行い、秋は市当局へ依頼しました。

3 空き地の草刈りについて

5月に空き地とその不在地主についての実態を把握し、不在地主138名（法人を含む）に対して、草刈り依頼の文書を発送しました。本年度の空き地総区画数は145区画でした。不在地主からの回答により、処理方法は、自治会依頼分80区画、自己処理分43区画、駐車場その他22区画となりました。

自治会依頼分については、業者委託ですので、各務原造園と年間（1区画24,000円（年2回））の契約を締結し、夏と秋の市民清掃前までに、草刈りを完了しました。

自己処理分では、夏の市民清掃終了後に未処理の区画について、各委員が不在地主に対して処理の催促を行い、また、秋の清掃後にもう一度処理状況をチェックし、再度処理の督促を行いました。

12月に最終チェックを行い、未処理の4区画については、東消防署に未処理地主名簿を提出し、処理の催促を依頼しました。

4 ベットの糞害問題について

ベットの糞害については、従来から苦情が絶えないことから、「飼主の心得10ヶ条」の文書を全戸に配布しました。また、環境委員が不定期に巡回するなど、住民の皆さんへのマナーの向上を呼び掛けてきました。今後とも環境美化にご理解の上、美しいまちづくりにご協力をお願いします。

5 つつじが丘集会所・公園清掃について

集会所の清掃については、室内と外まわりの両方があり、各町内が班単位の順番で、月1回の清掃活動を行っています。

公園清掃も各町内ごとに、毎月実施してきました。

6 緑化対策について

「つつじが丘」の美しい緑のまちづくりを目指し、ボランティアグループの結成が昨年来の懸案となっていました。平成9年の3月ようやく結成の運びとなってきました。

新年度の活動開始に向けて引き続き努力をしていきます。

7 おわりに

私たちが住む「つつじが丘」が住み良い明るいそして、きれいなまちでありたいとの願いは、皆さんも同じであると思います。私たち環境委員一同皆さんと手を携えて努力してまいりました。不慣れで不手際があったと思いますが、皆様方のご協力により役目を果たすことができました事を感謝するとともに、心からお礼申し上げます。

【防災委員会】

今年度の防災関連活動は、災害が発生した場合の身近なテーマを取り上げて実施した防災訓練、各種防災設備及び街路灯の点検・補修並びに防災意識の高揚に、積極的に取り組み、皆様の協力のおかげで、成果をあげることができま

した。

特に、老朽化した交通安全標識の更新によって、町内も一段と明るく、事故防止に貢献するものと期待されます。

1 災害予防活動

- (1) 防災訓練の実施 春 5月26日(日) 上池公園
秋 11月10日(日) 上池公園及び周辺

春の防災訓練は、168名の参加をえて、てんぷら火災の消火訓練と応急手当ての要領について実施しました。東消防署員の指導のもと、2グループに別れて、それぞれ実習を主体とした訓練は、火災発生時の初期消火と応急手当てによって、被害の拡大を防止できるものと思います。なお、訓練に使用した簡易消火器の評判が高く、約60本を紹介しました。

また、秋の訓練は、110名が参加して東消防署員や西町消防団員の指導により、上池公園周辺の4箇所の消火栓を活用して、実地の放水訓練を実施しました。特に、ホースの伸張や放水時の水圧を女性を含め実際に体験したことは、つつじが丘にある37箇所の消火栓が、「いざ鎌倉」の時には有効に活用されるものと思います。参加者の評価の高い内容にすることができました。

- (2) 救急救命講習会の実施 10月20日(日) 11月17日(日)
ふれあいセンター

震災、災害及び事故等が発生した場合の救急救命として、東消防署長以下
の指導で心肺蘇生法及び止血法等の講習会を実施しました。

ダミーを使用した心肺蘇生法の実習は、ややハードであったし、三角巾を使った止血法も締め付けが強かったりして、3時間半悪戦苦闘の末全員が合格し、市消防長から「普通救命講習修了証」を戴き、地域の防災活動に寄与するものと考えます。

◇合格者(1回目 21名 ・ 2回目 30名 合計51名)

- (3) 消火設備の維持更新

つつじが丘には、放水可能な消火栓とホース格納庫が37箇所、消火器43箇所が設置されています。防災委員は、春・秋に定期的に点検し、これらの設備の維持に努力してきました。本年度はホース格納庫1個を更新しました。なお、消火栓の位置を示す表示板が腐食して判明できにくいこと等、次年度以降の課題として残りました。

2 交通安全活動

昨年1年間の団地周辺の交通事故は、物損981件、人身155件発生し

ています。一昨年より減少（物損63件，人身21件減）しているものの、依然として多いので、皆様方のより一層のご注意をお願いします。

(1) 交通安全活動

当自治会が関連する主要事業の盆踊り，夏祭り，運動会等に交通指導を実施し，円滑な大会の運営に貢献しました。

(2) 交通安全標識（20km/h）の整備

当自治会が運営している交通安全標識（20km/h）29個を更新しました。標識の腐食と破損により，かねてから更新要望の強かった事業で，団地内のよりいっそうの交通安全につながると同時にまちが一段と明るくイメージアップされました。

3 街路灯の維持整備

(1) 街路灯の新設

本年度は，町内で暗い2箇所（2丁目）について防犯灯設置を市当局へ申請し，承認され2基増設になりました。

(2) 街路灯の維持整備

街路灯の不良箇所の修理を月2回（15日，月末）実施し，良好な状態に維持してきました。今年度特に，器具側の不良品についても点検・調査し，整備しました。月別交換状況は下記の通りです。（総計 件）

月	件数	月	件数	月	件数	月	件数	月	件数	月	件数
4	32	5	16	6	12	7	12	8	14	9	8
10	5	11	8	12	6	1	4	2	16	3	

なお，団地内の電柱番号（中部電力とNTT）を整理し，防災委員と電灯交換業者に配布し，円滑な交換整備に努力しました。

4 おわりに

皆様方のご協力により，8年度の防災活動を円滑に推進することができましたことに感謝申し上げます。

「災害は，忘れた頃に来る」と申しますが，常日ごろからの備えの大切さを言い表しているのだと思いますが，防災訓練や設備の点検は，疎かにせず継続することに意義があるものと考えます。

【文化体育委員会】

『住民相互の親睦を図る』ことを目的として、盆踊り大会、市民文化展等のイベントの推進役として活動してきました。

以下、行事ごとに本年度の会務報告をいたします。

1 盆踊り大会 7月27日(土)～28日(日) つつじが丘中央公園

19回目を迎えた盆踊り大会は、つつじが丘恒例の行事として定着し、住民の皆さんに親しまれてきました。

今年度も、景品交換、お楽しみ抽選会 各自治会の夜店等の催し物も実施され、天候にも恵まれ、多くの人々に集まっていただき、大盛況の内に終えることができました。

この運営において自治会役員はもとより、寿会、婦人会、子ども会、有志の方々等の多くの皆さんのご協力をいただきました。また、景気のよい太鼓を打ち続けてくださったひびき太鼓の皆さん、協賛をいただきました各商店などに厚くお礼申し上げます。

2 市民文化展 11月3日(日)～4日(月) ふれあいセンター

出展数は昨年とほぼ同じで、96名の方々から150余点の出展をいただきました。

作品も婦人会、同好会、サークルを中心に陶芸、生花、絵画、書、手芸、押し花等多分野に渡りました。

いずれにしろすばらしい作品ばかりで、入場された方々から称賛の声があがっておりました。

また、今年も婦人会の好意により、お茶席を設けていただき、作品を鑑賞された方々にくつろいだ雰囲気味わっていただくことができました。

3 その他

10月10日(日)に、八木山まちづくり協議会の主催として、3年目となる第17回市民運動会が行われました。当日は、絶好の天候にも恵まれ多くの参加者の皆さんに、秋の一日を楽しんでいただけたと思います。

当委員会は道具係として中心的役割を分担する中で、精一杯力を発揮いたしました。

4 おわりに

委員一同不慣れなこともあり、試行錯誤の繰り返しでしたが、皆様方のご協力を得て、無事役割を果たすことができました。心より感謝いたします。

【福祉委員会】

私たち福祉委員会は、下記の統一自治会における『福祉の基本方針』に基づき、「ぬくもりとやすらぎのある福祉のまちづくり」に取り組んできました。

特に本年は、全住民の皆さんに福祉に対する認識を高めていただくとともに行事を介しての交流・ボランティア活動等の活性化をめざし、活動を推進してきました。

福祉の基本方針

- イ 自治会の諸行事を通じ“福祉の心”の育成をめざし、関係諸団体および自治会各委員会との協力・調整を行う。
- ロ 高齢者（65才以上）の状況把握および分析。（民生委員、班長会議との連携）
- ハ 社協八木山支部の機能充実を図ることに対する協力。
- ニ 近隣ケア・グループの自主性を尊重しつつ、要請があれば側面より支援する。
- ホ 福祉全般につき、住民の関心を高める活動。

以下、1年間の活動経過について報告します。

1 市老人福祉センター「稲田園」の見学会について

10月18日（金） 稲田園

市内にある老人福祉関係施設が、どこにあり（場所）、どんな施設（内容でどうしたら利用できるか（方法）を、住民の皆さんに覚えていただくことを目的に、見学会を実施しました。今までは、高齢者の方々を対象とし団地内で行事を開催してきましたが、今回はその枠を広げ全住民を対象とし現地まで出かけました。

各町内から54名の参加を得て、食事、入浴、カラオケ、囲碁将棋、アスレチック器具、玉突きなど、「稲田園」での一日を満喫していただきました。当日は、日本舞踊同好会「はまなす会」およびケア・ボランティアの方々に、舞台やご老人の世話などたいへんお世話になりました。

2 「そば道場」の開催について 11月24日(日) ふれあいセンター
高齢化社会の到来が問われている今、私たちは生き甲斐をもち、心身ともに健康に対処していく必要があります。このような観点から、健康食品といわれる日本そばを身でもって打つことを学び、食し、趣味の一つになることを願い「そば道場」を開催しました。

昨年までは、高齢者の方々を招待し、委員会がそばを打って食べていただきましたが、今回は、高齢者の方々でも楽に打てる方法で“自分で作り食べる”を要領として企画しました。私たち福祉委員は経験がないために、参加される方々に少しでもお役に立てるように、事前にそばづくりの勉強をしました。

当日は100名を越える参加者があり、ケア・ボランティアや経験者の方々の自主的な協力も受け、活気あふれる「そば道場」となりました。集まった人々が教え習いあうことで、ふれあいの場がいっぱいになり、盛大に終えることができました。

特に講師として暖かいご指導を賜りました5丁目の■■■さんには、心より厚くお礼申し上げます。

3 介護講習会の開催について 2月16日(日) ふれあいセンター
各務原市社会福祉協議会「サンバレーかかみ野」の理学療法士相馬智加子先生をお招きし、介護に関する基本を学びました。

参加された48名が、寝たきりの病人に対する介護、車椅子の扱い方、腰痛防止法等、具体的に手とり足とり体を使い体験しました。

また、実地講習の後、和室で講師と膝をまじえて座談会をもちました。老人ホームへの入居、「サンバレーかかみ野」の利用方法等、現実的な質問も出され、たいへん有意義な講習会となりました。

4 おわりに

住民の皆さんには、それぞれの行事にあたり、ご指導・ご協力をいただき私たち福祉委員も精一杯頑張ることができました。

今後も、これら福祉関係の行事を通して“ふれあいの輪”が、さらに大きく育つことを願うとともに、「明るいつつじが丘」のまちづくりに一層のご理解とご協力をお願いします。

【ふれあいセンター管理運営委員会】

本年度は、ふれあいセンターを皆さんに気持ち良く使用していただけるように、建築物および設備機器の維持管理方法の再検討を重点テーマとして活動を進めてきました。しかし、懸案事項も多く次年度へ課題として残されていますが、引き続き検討していただきたいと思えます。

なお、12月にはふれあいセンター内に、「つつじが丘ふれあい文庫」を開設することができました。

以下、本年度の会務報告をいたします。

1 建築物の維持管理方法の再検討について

(1) 消防設備点検（法定）を8月と2月に実施しました。

8月実施の総合点検は消防署へ届け出を行いました。また、避難誘導灯および消火器の修理を実施しました。

(2) 全館一斉定期清掃を9月と3月に実施しました。

エアコンのフィルターの清掃と厨房器具の裏床面清掃を追加実施しました。

(3) ホール天井の蛍光灯等の取り替え作業用として脚立を購入しました

(4) 和室の障子の補修については、運営委員会のボランティア活動により補修を行いました。

※ 次年度へ……………和室の畳、厨房周辺の病虫害駆除 など

2 設備機器の維持管理方法の再検討

(1) ホールのPACエアコンの修理を実施しました。

(2) カラオケセット故障修理（3回程）実施しました。

※ 次年度へ……………機器の老朽化への対応、適切なメンテナンス
要望の高い機器への更新
機器修理のボランティア など

3 「つつじが丘ふれあい文庫」の開設について

12月に、ふれあいセンター内に、一丁目の■■■■様から寄贈していただいた図書147冊で、「つつじが丘ふれあい文庫」を開設しました。辞書、エッセー、文学全集、単行本、マンガ等大人も子供も楽しめる多様な図書の構成となっています。是非、皆さんも活用してください。

【閲覧日と貸出日】 月曜日、木曜日

※ 次年度へ……………利用されやすい文庫への検討

4 備品等の購入について

- ・ カラオケCD
- ・ 基盤
- ・ 掛け時計, 脚立

5 おわりに

- (1) 皆様のご協力により、平成8年度のふれあいセンター管理運営委員会の活動を無事終えることができました。有難うございます。

特に、管理人の一木さんが毎夜行っている防火・防犯のための定期館内巡回やボランティアによる障子張り替えなど、皆様の協力によりふれあいセンターが維持管理されていることを改めて紹介いたします。

- (2) 今年度、早々ホールのエアコン修繕工事が発生し、多額の費用を費やしました。

ふれあいセンターで使用している設備機器は、老朽化が進んでおり大型修理が必要となっています。長期修繕計画を立案し、健全な維持管理を行う時期にきていると考えます。

<ふれあいセンター利用状況>

平成8年度の使用および使用料金収入状況は次の通りです。

月	使用件数	使用料金	月	使用件数	使用料金
4月	30(2)件	128,290	10月	24(3)件	41,960
5月	18(3)件	109,060	11月	33(10)件	35,960
6月	30(4)件	80,240	12月	23(3)件	60,780
7月	27(3)件	32,870	1月	25(1)件	32,890
8月	14(1)件	19,040	2月	27(6)件	29,150
9月	28(3)件	95,510	3月		

()内は、内数で無料使用件数を示す。

平成8年度会計決算報告

1. 基金の部

科 目	金 額	適 要
平成8年度基金残高	23,785,713	平成9年2月末日

2. 積立の部

(1) 集会所改修準備金

収 入 の 部		支 出 の 部	
前年度繰越金	600,000		
一般会計より繰入	300,000		
		次年度繰越金	900,000
合 計	900,000	合 計	900,000

(2) 緊急災害準備金

収 入 の 部		支 出 の 部	
前年度繰越金	4,300,000		
一般会計より繰入	500,000		
		次年度繰越金	4,800,000
合 計	4,800,000	合 計	4,800,000

(3) ふれあいセンター修繕準備金

収 入 の 部		支 出 の 部	
前年度繰越金	600,000		
一般会計より繰入	300,000		
		次年度繰越金	900,000
合 計	900,000	合 計	900,000

(4) 福祉関係基金

収 入 の 部		支 出 の 部	
前年度繰越金	1,035,000		
一般会計より繰入	500,000		
		次年度繰越金	1,535,000
合 計	1,535,000	合 計	1,535,000

平成 8 年度会計決算報告

3 収入の部

単位：円

科 目	予 算	収 入	摘 要
前年度繰越金	3,820,657	3,820,657	
自治会費	6,018,000	6,077,000	500円×全戸数×12ヶ月
自治会入会金	10,000	34,000	1000円×入居戸数(34戸)
自治会基金利息	450,000	42,396	
自治会長報酬費	641,320	650,120	均等割 25,000円×8=200,000円 世帯割 440円×全戸数
広報紙配布手数料	1,003,000	1,023,000	1000円×全戸数
分別収集報奨金	240,720	245,520	240円×全戸数
公園清掃報奨金	259,000	259,000	
ふれあいセンター使用料金	600,000	736,430	
雑 収 入	272,303	377,970	美しいまちづくり推進事業奨励金等 138,780円 預金利息他 69,898円 盆踊り箱算金 169,292円
合 計	13,315,000	13,266,093	

4 支出の部

単位：円

科 目	予 算	支 出	摘 要
自治会総会費	50,000	43,758	
街路灯電気費	1,300,000	1,454,014	
電気費	750,000	783,156	
修理費	550,000	670,858	蛍光灯取替えなど
事務局関係費	650,000	465,576	
事務費	300,000	316,131	印刷用紙、コピーキット代、事務用品など
会議費	150,000	110,660	
機関紙発行費	200,000	38,785	印刷用紙
集会所運営費	230,000	96,748	光熱水道代
各自治会助成金	2,006,000	2,000,000	盆踊り、夏祭り、新春の集い
環境対策費	320,000	234,547	
清掃対策費	100,000	48,729	
空き地草刈り対策費	20,000	0	
緑化対策費	200,000	185,818	
防災対策費	900,000	868,600	
防災行事費	20,000	12,060	
地域防災費	80,000	38,540	
交通標識更新費	600,000	618,000	
西町消防団賛助金	200,000	200,000	
文化体育費	600,000	600,000	
盆踊り関係費	500,000	500,000	
市民文化展関係費	100,000	100,000	
福祉委員会活動費	150,000	123,725	
各種団体助成金	800,000	800,000	
まちづくり協議会	330,000	330,000	
こども会	290,000	290,000	
寿人会	100,000	100,000	
婦人会	80,000	80,000	
地域交際費	250,000	242,040	
ふれあいセンター運営費	1,250,000	1,437,391	
維持管理費	1,150,000	1,350,638	
備品購入費	100,000	86,753	

集会所修理準備金	300,000	300,000	
緊急災害準備金	500,000	500,000	
ふれあいセンター修理準備金	300,000	300,000	
福祉関係基金	500,000	500,000	
予備費	3,209,000	0	
合計	13,315,000	9,966,399	

平成8年度収支残高

収入金額	支出金額	差引残高(平成8年度繰越金)
13,266,093	9,966,399	3,299,694

以上、平成8年度会計報告に誤りのないことを認めます。

平成9年3月 9日 会計監査



平成9年度（第22期）活動方針（案）

私たちの“つつじが丘”は、20年余の歴史を経て、現在 1,010世帯、3,547人の方々が暮らす住宅地となりました。このまちは住環境に恵まれ、各務原市内においても有数な活動的なまちです。このことは会員ならびに歴代役員の皆さん方の努力の賜物であり、あらためて厚くお礼申し上げます。

これからは、高齢化時代にむけて「おもいやりのある、明るく住みよいまち」をめざしていく必要があります。地域住民の皆さんが自覚を持ち、それぞれが参加意識を高め責任を果たして行くといった自治活動が求められています。

平成9年度は、このような観点から活動を推進していきます。

1. 福祉活動について

日本の65歳以上人口は 1,899万人で、総人口（12,577万人）の15.1%を占め過去最高となりました。このうち、75歳以上人口は 5.9%、85歳以上人口は 1.4%となっています。

日本の65歳以上人口 （平成8年9月15日現在）

		総人口	65歳以上人口				
			65歳以上	70歳以上	75歳以上	80歳以上	85歳以上
人 口 (万人)	計	12,577	1,899	1,245	747	409	170
	男	6,164	784	476	265	136	51
	女	6,413	1,116	769	482	273	119
割 合 (%)		100.0	15.1	9.9	5.9	3.3	1.4

各務原市においては65歳以上の人口が15,920人で11.8%、つつじが丘では 309人で 7.9%となっています。（平成9年10月1日現在）

一般に、65歳以上人口が 7%を超えると高齢化、14%を超えると高齢化社会といわれています。このように、青年都市といわれる各務原市ですらすでに高齢化社会に近づいており、“つつじが丘”では高齢化がはじまっています。

私たちは、将来の超高齢化社会を見すえ高齢者福祉を重点に、行政、社協八木山支部および民生委員・近隣ケアボランティアグループの方々との協議・連携を保ちながら、福祉委員会を中心に福祉講習会・研修会などの諸活動を進めていきます。住民の皆さんのご理解と参加をお願いします。

「福祉基金」については、本年度も50万円を積み立てていきます。

2. 生活環境整備について

(1) 上池周辺等の環境整備について

上池内のり面や3・7・8丁目の各のり面は、市当局に1年に1度、定期的に整備していただいています。本年度も実施時期を役員会で検討し要請していきます。また、遅れています上池の「つつじが丘公園整備事業」は、早期完成にむけて市当局に要請していきます。

(2) 緑化対策について

美しいまちをつくり育てていくためには、そこに住む人々が「自分たちのまちは自らの手で美しくする」といった気持ちで努力することが大切です。

懸案でした、8丁目のり面の文字植樹・淡墨桜を含め団地内公園の樹木の剪定などを目的とした緑化ボランティアグループ「緑の会」が、昨年度末に結成できました。本年度より、環境委員会との連携を密にし活動していただきます。

必要な緑化対策用の用具等については、環境委員会で検討し順次購入していきます。

(3) 団地内清掃について

例年、春（5月）に行っています道路・側溝・のり面・公園等の団地内清掃、および毎月の公園清掃は、従来どおり各町内毎に実施します。

夏（7月）と秋（11月）の市民清掃においては、春の清掃と同様の箇所の他市当局より要請のある大安寺川の清掃（本年度の当番自治区は、夏が7・8丁目秋が1・2丁目となります）、および「八木山まちづくり協議会」より割り当てられる場所（八木山登山道・清水谷・ふれあい農園など）の清掃・整備を、各団体と協力して実施します。また、中学生の参加促進も図っていきますので、ご指導・ご協力を願います。

なお、清掃用具等の整備については、環境委員会において検討していきます。

(4) ゴミ分別収集について

昭和59年から始まりました各務原市におけるビン・カン等の分別収集は、私たち住民の協力により、大きな成果を収めてきました。

ご承知のとおり、昨年に「容器包装リサイクル法」が制定され、捨てる社会からリサイクル社会の確立にむけて、新たに「ペットボトル」「紙パック」を分別収集し、資源化を図られることとなりました。

そのため、本年4月より「ペットボトル」「紙パック」の2種類が加わり、また「ガラス類・陶磁器類」「カン類以外の金物類」の収集が変更され、市内全世帯を対象に実施されています。

市当局の指導のもと環境委員会を中心に各自治会と連携を十分にとり、さらに徹底を図っていきます。皆様のご協力をお願いします。

(5) その他

例年どおり、団地内空地の雑草等の対策は不在地主に要請し（業者処理または自己処理など）、年2回、草刈りを実施していただきます。

5丁目から3丁目にかけての団地東端・大安寺へ抜ける道路の周辺（のり面を含む）の雑木林の整備については、引き続き市当局へ働きかけていきます。

3. 防災・交通安全活動について

(1) 防災活動について

春と秋の防災訓練（救急救命講習会を含む）は、例年どおり東消防署・鶴沼西町消防団の指導をお願いし実施します。

住宅が密集するこのまちに、一度火災が発生すれば大変なことになります。常に「阪神大震災」の教訓を忘れず、日頃から防災意識の高揚に努め、防災訓練を継続実行していくことが肝要です。さらに多くの皆さんが参加されることを願います。

消火ホースの格納箱・標示板は、防災委員会が定期的に点検（2回／年）を実施し、更新を含めて適切な管理を進めていきます。

つつじが丘地区には自衛消防団が設置されていません。本年度も鶴沼西町消防団に、消火・防災活動などの支援・指導をお願いしていきます。

緊急災害準備金は、本年度も50万円の積立をしていきます。



(2) 交通安全活動について

団地内の交通危険箇所を把握し、住民の皆さんの要望などを検討し、カーブミラー・街路灯の設置等について、改善要請を市当局に行なっていきます。また、更新しスマートで美しくなった交通安全標識（右写真）は、大切にさせていただきますようお願いいたします。

路上駐車等の問題については、住民の交通マナーの高揚に努めていきます。

(3) 街路灯の管理について

団地内の街路灯の管理（電気料・修理などの維持・整備）は、自治会が行うことになっています。そのため、街路灯の“故障または蛍光灯の球切れ”については、従来どおり防災委員会が集約し、専門業者に依頼し月2回（15日、月末）に、修理・球の交換を実施していきます。

4. 文化体育活動について

(1) 盆踊り大会について

本年度も、さらに多くの皆さんに参加し楽しんでいただけるように、同好会・ひびき会（太鼓）の支援、各自治会の出店、抽選会などで、盆踊りの盛り上げを図ります。「協賛金」については、昨年と同様に協力していただける商店をお願いしていきます。具体的な企画は、文化体育委員会において進めていきます。

(2) 市民文化展について

このまちは、多分野に多才な趣味をお持ちの方々が多くみえ、高い文化を誇っています。本年度も市民文化展を開催し皆さんに鑑賞していただきます。

具体的な企画は、文化体育委員会において進めていきます。

(3) 八木山まちづくり協議会主催行事

「八木山夏祭り」「市民大運動会」「新春の集い」の3大行事については、協議会に参加する主団体として責任と任務を担い、参画していきます。

5. ふれあいセンターおよび集会所について

“ふれあいセンター”は、つつじが丘の「福祉と文化の拠点」として私たちの貴重な施設です。

本年度も「ふれあいセンター管理運営委員会」において、住民の皆さんの意見・要望などを検討し、備品の購入・清掃・修繕等を進めると共に、周辺の方々の迷惑にならないよう、また、利用しやすいセンターを目指し、管理運営を推進していきます。

特に、ふれあいセンターで使用している設備機器の大型修理については、次年度以降に対処できるよう中期的な修繕計画を検討していきます。

集会所については「役員会」を中心に、維持管理していきます。

なお、本年度も「ふれあいセンター修繕準備金」「集会所修繕準備金」について各々30万円を積み立てていきます。

6. 「タイムズつつじが丘」の発行について

昨年度より「タイムズつつじが丘」を、自治会の機関紙として位置づけ再発行してきました。本年度も広報室が担当し、4回／年程度の発行をめざし、無理のない体制・内容で進めていきます。

よりよい機関紙とするためにも、皆さんの投稿をお待ちしています。

平成9年度予算（案）

1. 収入の部

単位：円

科 目	金 額	摘 要
前年度繰越金	3,299,694	
自治会費	6,120,000	◎ 500円×1020戸×12月
自治会入会金	15,000	◎1,000円× 15戸
自治会基金利息	150,000	
自治会長報酬費	648,800	均等割 ◎25,000円× 8町内=200,000円 世帯割 ◎ 440円×1020戸=448,800円
広報紙配布手数料	1,020,000	◎1,000円×1020戸
分別収集報奨金	244,800	◎ 240円×1020戸
公園清掃報酬費	259,000	
ふれあいセンター使用料金	650,000	
雑 収 入	472,706	美しいまちづくり 推進事業奨励金等 138,000円 盆踊り大会協賛金 300,000円 預金利息他 34,706円
合 計	12,880,000	

2. 支出の部

単位：円

科 目	金 額	摘 要
自治会総会費	50,000	
街路灯電気料等	1,500,000	電 気 料 費 800,000円 修 理 費 700,000円
事務局関係費	480,000	事 務 費 300,000円 会 議 費 140,000円 機 関 紙 発 行 費 等 40,000円
集会所運営費	130,000	
各自治会助成金	2,040,000	②,000円×1020戸
環境対策費	240,000	清 掃 対 策 費 80,000円 空 地 草 刈 対 策 費 10,000円 緑 化 対 策 費 150,000円
防災対策費	320,000	防 災 行 事 費 20,000円 地 域 防 災 費 100,000円 西町消防団賛助金 200,000円
文化体育費	750,000	盆 踊 り 関 係 費 650,000円 市 民 文 化 展 関 係 費 100,000円
福祉委員会活動費	150,000	
各種団体助成金	870,000	ま ち づ くり 協 議 会 360,000円 こ ど も 会 290,000円 寿 会 (老 人 ク ラ ブ) 100,000円 婦 人 会 80,000円 近 隣 ケ ア ボ ラ ン テ ィ ア 40,000円
地域交際費	250,000	弔慰金・自治会長研修費
ふれあいセンター運営費	1,500,000	維 持 管 理 費 1,400,000円 備 品 購 入 費 100,000円
集会所修繕準備金	300,000	
緊急災害準備金	500,000	
ふれあいセンター修繕準備金	300,000	
福祉関係基金	500,000	
予 備 費	3,000,000	
合 計	12,880,000	